

議会傍聴者へ直撃インタビュー

5月31日の一般質問を傍聴された方へアンケートと直撃インタビューを行いました。



橋本 広治さん (八島台)

初めて傍聴しました。思っていたよりコンパクトに感じた議場でした。議会だよりの紙面では感じ取れないニュアンスや空気感が伝わってきました。質問の視点・ポイントを考えさせられ、自分も議会に参加しているかのような錯覚さえありました。

我々一般市民の声がどのように町に届くのか、伝わるのか。自分自身がまちづくりに関心をもちながら、地域活動などを通して参画しなければと感じました。

議会傍聴のご意見・ご感想

- ・一般質問の議員さんが毎回同じようなのはなぜでしょうか。
- ・14番議員の質問・答弁がまとまっておりました。むずかしい課題かと思いますが、継続検討願います。
- ・不登校生徒数について、4番議員が「個人が特定されるべきだ」とおっしゃってましたが、ありえない発言だと思いました。特定されたくない人もいますし、特定されたところで地域の方が助けてくれるとは限りません。当事者の気持ちを全く無視した発言だと思いました。教育長が「個人情報だ」と何回も説明しているのにしつこいと思いました。割合を知ったところで不登校はなくなりません。もっと違う観点で質問してほしいです。
- ・3番議員のような若い議員の考え方、とても良かったです。なるほどと思いました。今の時代に合ったPR方法・集客方法などを期待したいです。
- ・いじめ・不登校に対して、町・教育委員会・保護者は考える提案事項であったと思います。その生徒さんが社会に入って活動し、将来が担える人材になれるように願います。
- ・人口減少の大きさに驚いています。町並みの維持に関心があります。
- ・企業局長の答弁は明確でとても良かったです。
- ・質問する議員の方々が時間の制限がある中で納得して質問を終わっているのでしょうか。次回の議会ですべて再質問するのかどうか。一過性か一貫してその問題を考えているのかどうか。役場の職員も定期的な人事異動で、その問題に専門性も低いのではないのでしょうか。